

作成日 2019 年 3 月 13 日

改定日 2025 年 2 月 18 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報	
化学品の名称	酸化イットリウム(Yttrium oxide)
製品コード	RY-15-1
会社名	岩谷化学工業株式会社
住所	滋賀県湖南市菩提寺 327-14
電話番号	0748-74-0321
FAX番号	0748-74-2469
緊急連絡電話番号	0748-74-0321
推奨用途および使用上の制限	セラミックス原料、蒸着材、蛍光体材料、溶射材 等
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	
・健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性： 区分 2B
	※上記 GHS 分類で区分の記載がない危険有害性項目については、「分類できない」または「区分に該当しない」に該当する。 また健康有害性については 11 項、環境影響情報については 12 項に記述する。
ラベル要素	
・絵表示又はシンボル	なし
・注意喚起語	警告
・危険有害性情報	眼刺激
・注意書き 安全対策	取り扱い時は適切な保護具を使用する。 粉塵を吸入しないようにする。 取り扱い後はよく手を洗うこと。
応急処置	眼に入った場合：清浄な流水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
保管	容器を密閉し換気の良いところで保管する。
廃棄	内容物や容器を法規に従い、廃棄物処理業者に委託して廃棄すること。

3. 組成および成分情報 物質 ・ 化学物質・混合物の区別 ・ 化学名又は一般名 ・ 慣用名または別名 ・ 成分および濃度または濃度範囲 ・ 化学式 ・ 官報公示整理番号 (化審法・安衛法) ・ CAS 番号 ・ GHS 分類に寄与する成分	化学物質（単品） 酸化イットリウム (Yttrium Oxide) イットリア (Yttria) 酸化イットリウム 99.99%以上 Y_2O_3 (1) - 560 1314-36-9 データなし
4. 応急措置 ・ 吸入した場合 ・ 皮膚に付着した場合 ・ 眼に入った場合 ・ 飲み込んだ場合 ・ 急性および遅発性の症状の最も重要な徴候症状 ・ 医師に対する特別注意事項	新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪い時は、医師の診断を受けること。 皮膚を大量の水で速やかに洗浄すること。 痛みなどの症状が続く場合医師の診断を受けること。 清浄な流水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診察/手当てを受けること。 速やかに口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。 情報なし 情報なし

5. 火災時の処置 - 適切な消火剤 - 使ってはならない消火剤 - 火災時の特有の危険有害性 - 特有の消火方法 - 消火を行う者の特別な保護具および予防処置	本物質は不燃性。周辺の火災に適応した消火剤を使用する。 特に無し 火災によって有害なガスを発生するおそれがある。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火活動は風上から行う。 火災発生場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。 消火作業の際には、適切な自給式の呼吸器用保護具、目や皮膚を保護する防護服（耐熱性）を着用する。
6. 漏出時の措置 - 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 - 環境に対する注意事項 - 封じ込め及び浄化方法と機材	漏洩区域は、関係者以外の立ち入りを禁止する。 漏洩区域内で作業する時は適切な保護具(防塵マスク、ゴーグル、手袋)を着用する。 こぼれた場合は、十分に換気を行い、真空掃除機などで発塵のないように回収する。 周辺環境に影響が出る可能性があるため、外部（河川、下水道、土壌）に排出されないように注意する。 漏洩物を掃き集めるか真空掃除機で吸引し、密閉できる容器に回収した後、廃棄処理する。 排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
7. 取り扱い及び保管上の注意 取扱い - 技術的対策 - 安全取扱注意事項 - 接触回避 - 衛生対策 保管 - 安全な保管条件 - 容器包装材料	なるべく粉塵の発生、拡散を避ける。 適切な保護具を着用する（ゴーグル、防塵マスク、手袋） （8. ばく露防止および保護措置の項を参照） 必要により、局所排気装置を設置する。 取扱い後はよく手を洗うこと。 粉塵を発生させないようにする。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。 データなし データなし 高温多湿を避け、密閉された容器で保管する。 外装：段ボール　内袋：ポリエチレン袋

8. 暴露防止及び保護措置 管理濃度 許容濃度 設備対策 保護具 ・呼吸器の保護具 ・手の保護具 ・眼の保護具 ・皮膚及び身体の保護具	3.0 mg/m³ 吸入性粉塵 2mg/m³ 総粉塵 8mg/m³ (日本産業衛生学会 2024 第3種粉塵 その他の無機粉塵) TLV/TWA 1mg/m³ (ACGIH 2015) 必要により、局所排気装置を設置する。 防じんマスクを使用する。 適切な保護手袋を着用。 保護眼鏡／顔面保護具を着用すること。 保護衣、安全靴等の保護具を着用する。
9. 物理的及び化学的性質 ・物理状態 ・色 ・臭い ・融点/凝固点 ・沸点または初留点および沸点範囲 ・可燃性 ・爆発下限界および爆発上限界/可燃限界 ・引火点 ・自然発火点 ・分解温度 ・pH ・動粘性率 ・溶解度 ・n-オクタノール/水分配係数 ・蒸気圧 ・密度および・または相対密度 ・相対ガス密度 ・粒子特性	固体 (粉末) 白色 無臭 2,410℃ 4,300℃ 不燃性 データなし 引火性なし 不燃性 データなし データなし データなし 水：不溶 酸：可溶 データなし データなし 5.01 g/cm³ データなし D50 1.3～1.9 μm 比表面積(BET) 2.0～5.0 m²/g
10. 安定性及び反応性 ・反応性 ・化学的安定性 ・危険有害反応可能性 ・避けるべき条件 ・混触危険物質 ・危険有害性のある分解性生物	データなし 室温で密封された状態で安定 データなし 粉塵の発生、吸湿を避ける 強い酸化剤、強酸、水（湿気） データなし

14. 輸送上の注意 ・国連番号 ・品名（国連輸送名） ・国連分類 ・容器等級 ・海洋汚染物質 ・MARPOL73/78 付属書および IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 ・輸送または輸送手段に関する特別の安全対策 ・国内規制 - 海上規制情報 - 航空規制情報 - 陸上規制情報	— — — — 非該当 非該当 輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、内容物が漏洩して発塵のないように取り扱うこと。 輸送時は直射日光ならびに高温多湿を避ける。 船舶安全法に従う。 航空法に従う。 消防法、道路法に従う。
15. 適用法令 ・労働安全衛生法 ・じん肺法 ・毒物および劇物取締法 ・消防法 ・化学物質排出管理促進法（PRTR 法） ・外国為替及び外国貿易管理法	名称等を通知すべき有害物（イットリウムおよびその化合物） 施行規則第 2 条別表 粉塵作業 非該当 非該当 非該当 輸出貿易管理令 キャッチオール規制 別表第 1 の 16 の項 (HS コード：2846.90)
16. その他の情報 ・引用文献	1) JIS Z 7253:2019 2) GHS 対応 化管法・安衛法・毒劇法におけるラベル表示・SDS 提供制度「化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）」に基づく化学品の危険有害性情報の伝達 令和 6 年 10 月 経済産業所 厚生労働省 3) 許容濃度の勧告（産業衛生学雑誌 2024 年度） 4) NITE 化学物質総合情報提供システム HP 5) 厚生労働省 職場の安全サイト HP 6) 13700 の化学商品（化学工業日報社） 7) 安全衛生法令要覧（中央労働災害防止協会）